

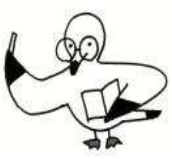
文学的な文章を読むためのワークシート（例）

解答例&てびき

「大造じいさんとガン」 （光村図書 102 ページ～・東京書籍下 64 ページ～）

- (1) 前書きのあとの四つの場面に名前（タイトル）をつけてみましょう。

4	3	2	1
残雪をうれしそうに見送る大造じいさん	また残雪には見やぶられたおとりのガンのしかけ	残雪には通用しなかったタニシのしかけ	一羽のガンをつかまえたつりばりのしかけ

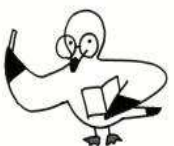


《てびき》
場面ごと、中心となるできごとは何かを意識して読んで
みるのが大切だよ！

- (2) 「大造じいさん」の「残雪」に対する見方が大きく変わった場面はどこですか。

3

《てびき》
大造じいさんが残雪の行動に心をゆさぶら
れている場面だよ！



大造じいさんの気持ちや残雪の様子を読み取る練習として、場面の展開に
沿って、次の課題に取り組んでみましょう。

- ー 【1の場面】大造じいさんは、どうして「ううむ。」と『感嘆の声』をもらってしまった
のでしょうか。

《考えるヒント》

大造じいさんは残雪のことを、はじめどのように思っていましたか。

大造じいさんが考えた「特別な方法」とはどんなものでしたか。

「特別な方法」に対して、残雪はどのような行動をとりましたか。

えさ場を変えた残雪らのことを、大造じいさんはどう考えていましたか。

残雪が仲間を指導して、大造じいさんが考えた、つりばりを使ったしかけに、かからないようにしたので、「たいしたちえをもっているものだ」と見直したから。

いまましい



たかが鳥 一晩たてば、またわすれて...



「ううむ。」 思わず感嘆の声を...

残雪の行動

- ・えをすぐには飲みこまない
- ・ぐうと引っ張ってみて
- ・いじょうなしとみとめると、初めて飲みこんだ



二 (1) 【2の場面】大造じいさんが「ううん。」とうなってしまったのはなぜでしょう。
《考えるヒント》

大造じいさんが考えたタニシのしかけとはどんなものでしたか。
そのしかけに対し、残雪らはどのような反応はんのうでしたか。
残雪らに対し、大造じいさんはどのような気持ちきもちでいましたか。

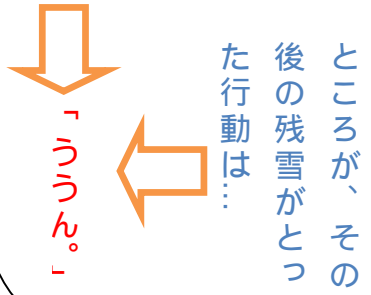
「今年こそは」と張り切っていたのに、**またしても残雪にしてやられてしまった**と思ったから。
・残雪の用心深さに感心したから。

《てびき》

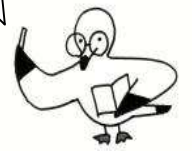
《タニシのしかけ》
タニシをガンの好みそうな場所にばらまいておいて、集まってきたところを、じゅうでしとめる。

《ガン》
思わぬごちそう
気に入りの場所

《大造じいさん》
会心のえみ
今年こそは目のもの見せてくれるぞ



ところが、その後の残雪がとつた行動は...



二 (2) 大造じいさんが【1の場面】で「ううむ。」と思わず感嘆の声をもらしてしまったときと、【2の場面】で「ううん。」とうなってしまうときとを比べ、大造じいさんの気持ちは、どのように変化しているでしょうか。

《考えるヒント》

大造じいさんは残雪に対して、だんだんとどのように思うようになったのでしょうか。「思わず感嘆の声をもらす」と「うなってしまう」とでは、どのようなちがひがあるのでしょうか。

つりばりやタニシのしかけを見やぶり、仲間を守る残雪の用心深い行動に感心する気持ちが、だんだんと大きくなっている。

《てびき》

「ううむ。」と思わず感嘆の声を…

大造じいさんの気持ち

- ・ たいしたちえをもっているものだ…
- ・ 残雪のためにしてやられた
- ・ ぬま地の向こうをじっと見つめたまま…

「ううん。」とうなっ…

三 (1) 【3の場面】大造じいさんの気持ちが大きく変わったことが分かる大造じいさんの行動や様子が書かれているところをぬき出してみましよう。

《考えるヒント》

大造じいさんは、【3の場面】で、はじめは残雪をどうしようと考えていましたか。

大造じいさんは、ぐっとじゅうをかたに当て、残雪をねらいましたが、なんと思ったか、ふたたびじゅうを下ろしてしまいました。

《てびき》

行動や様子を表現しているところからも、登場人物の気持ちが読み取れるよ。



三 (2) 【3の場面】で、大造じいさんが「強く心を打たれて、ただの鳥に対しては、な気がしませんでした」と思うようになったのは、残雪のどのような行動や様子からでしょうか。

《考えるヒント》

ハヤブサが大造じいさんのおとりのガンを一けりしたとき、残雪はどのような行動をとったでしょうか。

仲間を守るため、ハヤブサにぶつかっていき、力いっぱいなぐりつけた行動。
ぬま地に落ちてても、なおもはげしく戦っている様子。
残りの力をふりしぼって、ぐっと長い首を持ち上げ、じたばたせずに、じいさんをにらみつけた、いかにも頭領らしい堂々たる態度。

四 (1) 【4の場面】大造じいさんの気持ちが分かる表現をぬき出してみよう。

《考えるヒント》

大造じいさんの会話や、行動を表している部分に注目しましょう。

「じいさんは、おりのふたをいっぱいに開けてやりました。
「おうい、ガンの英雄よ。おまえみたいならぶつを、おれは、ひきようなやり方でやっつけたかあないぞ。…そうして、おれたちは、またどうと戦おうじゃあないか。」
いつまでも、いつまでも、見守っていました。

四 (2) 【4の場面】大造じいさんと残雪はどのような関係になったでしょうか。

《考えるヒント》

大造じいさんは北へ北へと飛び去っていく残雪をどのような気持ちで見守っていたでしょうか。

《てびき》
大造じいさんの気持ちの変化を
たどれば、すぐに分かるね

(な) 関係



人間どうしのような
ライバルどうしのような
仲の良い友だちのような
お互いに競い合い、みとめ合う

五 (1) 「大造じいさんとガン」を一言で表すならば？

- ・人間と動物の友情
- ・大造じいさんとガンの頭領が競い合う
- ・人間が動物とみとめ合う
- ・人間と動物の約束

()の物語

《てびき》

作品を読んだ人に、どんなことを伝えたいのかを考え、一言で言い表せるようにすることは、作品の理解りかいを深めることにつながるよ。



五 (2) 右のように考えた、自分なりの理由をまとめよう。

《例》「人間と動物の友情の物語」と考えた理由

大造じいさんとガンの頭領のあいだには、人間と動物という生き物としての種類をこえて、人間どうしのような友情がめばえていると思っただからです。

また、人間がペットとして動物をかわいがることはよくありますが、大造じいさんとガンの頭領は対等の関係ではないかと考えました。

《てびき》

自分なりに考えたことをまとめ、読む相手にわかるように書き表したり、言い表したりして、友だちと意見の交流を試みよう。自分とはちがった読み方や感じ方の人との出会いを大切にしよう。

